

大学の世界展開力強化事業 取組概要 関西学院大学

【構想の名称】(選定年度23年度(タイプB-Ⅱ))

日加大学協働・世界市民リーダーズ育成プログラム「クロス・カルチュラル・カレッジ」

【プログラムの目的・養成する人材像】

豊かな国際コミュニケーション能力、論理的・実践的な分析力、国際的な場での高度な課題発見・解決能力、行動力およびリーダーシップを備え、グローバル社会の持続的な発展と成長に寄与する「世界市民リーダーズ」を養成する。

【構想の概要】

本学とカナダの3協定大学(マウント・アリソン、クイーンズ、トロント)が連携し、両国の学生が日加を行き来しながらともに学ぶ学士レベルの共同教育プログラム"Cross-Cultural College (CCC)"を設置・運営する。

■ 質の保証を伴った大学間交流の枠組形成に向けた取組

○ 共同運営委員会、共同教務委員会を開催

24年度同様、日加4大学の学長・副学長級が委員である共同運営委員会、および各大学の教務担当教職員で構成する共同教務委員会を11月に開催。25年度開催の教育プログラム概要報告を行い、その改善点や次年度の事業運営およびプログラム概要につき協議した。

○ 国際協働プログラム公開セミナーを開催 <http://www.ccc-canada.jp/folder/post-5.html>

「日本とカナダの大学における国際戦略とCross-Cultural College」と題したセミナーを2月に一般公開。学生による成果報告や、カナダ側参加大学、大使館を招いてのパネルディスカッションを実施した。

○ アドバイザリー・ボード会議を開催

外部識者からなる「アドバイザリー・ボード」会議を2月に開催。25年度の教育プログラムや事業運営の報告を行い、本事業に対する外部評価を受けて「質保証」に努めるとともに、次年度以降の事業計画案等に対する提言を受けた。

〈公開セミナーにおける学生の成果報告〉



■ 実施した交流プログラムの概要、今後の開始に向けた準備状況

〈Global Internship 日加ペアでの就業体験〉



○ 多様な交流プログラムで日本とカナダの学生が共に学ぶ場を提供

前年度に引き続きAsian Studies Summer School (ASSS)、およびコア科目となるJoint Seminar (JS) in Japan & Canada、Global Career Seminar (GCS) in Japan、Global Internship (GI) in Japanを7～8月に実施。さらに2月には本年度2度目のGCS in Japanを実施した他、次年度コア科目への参加を希望する本学学生を対象に、カナダ学生とのグループ研究を实践する場を提供するCross-Cultural Workshop (CCW)をカナダにて実施した。

<http://www.ccc-canada.jp/reports/2013.html> (25年度活動報告)

○ カナダで開催するコア科目の拡充

26年度8月にはGI in Canadaを、2月にはGCS in Canadaを新規で実施予定。両プログラムとも、受入・協力企業は既に決定しており、実施に向け順調に準備を進めている。

■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

○ 日本人学生の派遣

JSで6名をマウント・アリソン大学に、CCWで19名をクイーンズ大学に派遣した。その他、本プログラム参加学生で交換留学、中期留学、外国語研修等に参加した学生は44名。

○ 外国人留学生の受入れ

ASSS、JS、GI、2度のGCSで計62名(マウント・アリソン大学11名、クイーンズ大学17名、トロント大学34名)の学生を受け入れた。

	H23	H24	H25	H26	H27
学生の派遣	8	27	69	99	105
学生の受入	0	50	62	45	45

注)H23～H25は実績、H26以降は計画。

■ 日本人学生の派遣・留学生の受入を促進するための環境整備

○ 日本人学生の派遣

全学的な取組としては、本学学生の海外派遣への興味・関心を高めることを目的に「留学フェア」を10月に開催。留学経験者や外国人留学生、さらにはカナダ大使館等の外部機関の協力の下、各種留学相談に対応できる場を提供した。本プログラム独自の取組としては、英語のみで会話を行う「English Café」を実施。英語力の向上に加え、Global awarenessを養うことを目的に会話テーマを設定し、交換学生の協力の下、週に一度開催している。その他、本プログラム参加者対象の交流会を開催。参加者同士が情報交換を行い、刺激し合うことにより、留学への意欲が喚起されるピア・サポートの仕組みを創出した。また、本プログラム参加者を対象に、学期ごとの学習等達成度記録簿の作成と面談を導入。コーディネーター教員が学生の履修状況を確認し、助言を行うことにより、本プログラムの修了、ならびに海外への留学を支援・促進している。

○ 外国人留学生の受入

11月にカナダ内でプログラムの募集説明会を開催。参加学生にも体験談を話してもらうなど、細やかな情報提供に努めた。また、トロント大学内に設置されている本学トロントオフィスに常駐する本学職員が、カナダ3大学の担当者との調整・情報共有を密に行い、カナダ学生に迅速かつ的確に情報提供を行っている。

■ 教育内容の可視化・成果の普及

○ Webサイト・広報冊子等の制作、セミナーの開催

交流プログラム実施の様子を随時ホームページやfacebookに掲載するだけでなく、一般公開のセミナーを通じて、教育内容や活動の成果を広く公開するよう努めている。また、プログラム参加者の学習成果(ラーニング・アウトカム)の可視化を目的とし、本プログラム参加者のインタビュー動画の撮影も進めている。

○ プログラム修了証書

25年度に所定要件を満たした修了者(日加合計25名)に対し、プログラム修了証書を授与。